

専大卓球陣活躍

郡山・三部・安藤が 男女とも団体優勝

男子・女子シングルスも

卓球・フィンランドオープン12月5、13日、フィンランド・ヘルシンキ

北欧に専大旋風。全日本大学総合選手権の男女シングルスでベスト4に入った選手が派遣され、専大からは郡山北斗(経営2・関西高)、三部航平(商1・青森山田高)、安藤みなみ(商2・慶誠高)が出場した。郡山、三部の男子日本チーム2と、安藤が出場した女子日本チーム1がと

に優勝。個人では男子シングルスで郡山が三部との決勝戦を制し、優勝。女子シングルスでも安藤が優勝した。

先輩、後輩の対決となった男子シングルス決勝。お互いに手の内を知り尽くした相手だったが、「思ったよりもプレッシャーなく臨めた」と三部。対して郡山は「前半のうちにリードを奪

を逃していた安藤は、「勝ちたい」という強い思いを持っていた。現在、攻撃の中でスピードに変化をつけることを課題にしており、「今まで試合でうまく使えていなかったが、今回はサーブ、ラリーで緩急をつけることができた」と満足げな表情だった。

団体は同志社大の成本綾海選手との初ペアで出場。「組みにくさはなく、むしろいいダブルスが出てきた。普段ペアを組まない人と試合をすることは、自分にとって勉強になった」と話した。(富樫幸恵・文2)

挑戦及ばず初戦敗退

全日本総合バスケットボール選手権11月2、9日、代々木第一体育館ほか

【女子】3年ぶりの出場となった女子は、1回戦でWJBL所属の山梨クインビーズと対戦した。

トップリーグに所属するチームに前半からリードを許す展開となるも、徐々に点差を縮めた。試合終了間際、残り34秒で田口明佳莉(文3・昭和学院高)が3ポイントシュートを決め、66-66の同点に追いついた。しかし、その後ファウルで与えたフリースローが決め手となり66-70で惜敗した。



日本代表のメンバーと。前列左から2人が安藤、右隣が三部、後列左から3人が郡山

【男子】全日本大学選手権で4位となり、2年



土屋良輔



近藤太郎

2月19日に開幕する2017冬季アジア札幌大会のスピードスケート日本代表選手が発表され、専大からは土屋良輔(経営4・福徳高)、近藤太郎(経営4・駒澤大附属小牧高)の2人が選出された。土屋は5000m、1

土屋 近藤 アジア大会代表に

万、チームパシユート、マススタートに、近藤は1500mに出場する。

帯広市の帯広の森屋内スピードスケート場で行われるスピードスケート競技は観戦無料。アジアナショナルを目指す2人に、大きな声援を送っ



小川翔也

2年に一度開催される「学生のオリンピック」ユニバーシアード競技大会の第28回冬季競技大会

小川が代表に

(1月29日〜2月8日、カザフスタン・アルマティ)のスピードスケート代表選手に、小川翔也(文4・池田高)が選出された(1月12日現在判明)。

小川は5000m、チームパシユート、マススタートに出場する。学生世界一を目指す活躍に注目だ。



真剣に話を聴く学生

自身も体育会出身であるというアスリートプラニングの中野渡桂さんと就職課スタッフが講師を務めた。大会スケジュールと採用スケジュールが重なってしまう体育会学生特有の課題を解決するために「時間の使い方を意識すること、強みである粘り強さ、精神的なタフさ、素直さなどをアピールすることによって同時に弱みにも気づき、克服するために早い準備が必要」といったアドバイスがあった。初めて開催した神田キャンパスでは公務員志望の学生が多く、試験後すぐに面接対策が必要だという話もあった。

学生連合で丸山が出場

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走11月2、3日、東京・大手町〜芦ノ湖

丸山竜也(商4・専大松戸高)が関東学生連合チームの一員として出場した。12月には1方だけで専大記録を樹立するなど、調



痛みをこらえて走る丸山

大きな力士を倒しているところを見てほしい。今は技で勝つことが多いが、押し勝つ相撲を見て成長を感じてほしい」と抱負を述べた。

また目標とする力士に、同じ奄美大島出身で小兵ながら活躍する里山関を挙げ、「地元を愛される力士になりたい」と話した。(谷田祐樹・法2)

福山が角界入り 先輩の藤島部屋に

12月13日、生田キャンパスで相撲部の福山聖和(商4・鹿児島商高)の藤島部屋入門会見が行われた。福山は身長172cm、

体重100kgと力士としては小柄だが、下手投げやひねり技に加え、居反りなど多彩な技の使い手。個人では昨年9月の全国学生相撲個人体重別選手権100kg未満級で3位に輝いた。今年度は主将を務め、東日本学生相撲リーグ戦でチームの1部残留に貢献した。

藤島親方(元大関・武双山、本学相撲部出身)、蒲田重勝監督とともに緊張した面持ちで会見に出席した福山は「先輩である藤島親方の下で稽古し、すぐに十両や幕内で活躍できる力士を目指したい。体が小さいので、

専大で培った4年間の経験がこれから大きな力になるはずだ。技の魔術師、福山が角界で大型力士に競り勝つ姿が今から待ち遠しい。なお、初土俵は春場所(3月12日初日、エディオンアリーナ大阪)の予選を挙げ、1時8分1秒(参考記録)と苦しいレースとなった。「流れを作るという役目を担いたくて1区を希望したが何もできなかった」と悔しそうに話した丸山。以前から「箱根はあくまで通過点」と話しており、今回の悔しさを糧に、次の舞台で活躍する姿を見せてほしい。そして、丸山の背中を追っ

国際大会 出場選手

- ◇フェンシング部 徳田朱里(商2・鹿児島南高) ユニバーワールドカップ・ハンガリー大会(1月6〜8日、ハンガリー・ブダペスト)
- ◇スピードスケート部 土屋良輔・近藤太郎 ワールドカップ競技会第5戦(1月27〜29日、ドイツ・ベルリン) / 世界距離別選手権(2月9〜12日、韓国・江陵)

体育会学生の就職セミナー

12月12日から15日にかけて体育会学生を対象とした就職セミナーが生田、神田両キャンパスと伊勢原体育寮で開催された。

記録コーナー

- ◇スキー部 全日本学生選手権 2月19〜24日(青森県大鰐町)
- ▽国民体育大会冬季大会 2月14〜17日(長野県白馬村)
- ◇アイスホッケー部
- ◇スピードスケート部
- ▽国民体育大会冬季大会 1月27〜31日(長野県長野市ほか)

